



## 答え合わせ・解説

問1	答え 4 三文	「早起きは三文の徳」の「三文」の部分が入ります。意味は「朝早く起きると、健康によかったり少しだけ良いことがあるということ」です。
問2	答え 1 回れ	「急がば回れ」の続きは「回れ」です。意味は「急ぐときほど、かえって遠回りのように見えても確実な方法をとるほうが結果的に早い」です。
問3	答え 2 誤り	「弘法も筆の誤り」の続きは「誤り」です。意味は「その道の達人であっても、時には失敗することがあるということ」です。
問4	答え 4 災い	「口は災いの元」の「災い」の部分が入ります。意味は「うっかり言った一言が原因で、大きな失敗や災難を招くことがある」です。
問5	答え 4 一步	「千里の道も一歩から」の「一歩」の部分が入ります。意味は「どんな大きな物事も、まずは小さな一歩から始まるということ」です。
問6	答え 2 五分の魂	「一寸の虫にも五分の魂」の続きは「五分の魂」です。意味は「どんなに小さく弱者でも、それ相応の意地や考えがあるから侮ってはいけない」です。
問7	答え 2 棒	「犬も歩けば棒に当たる」の「棒」の部分が入ります。意味は「何かをしようと行動すれば、思わぬ幸運や災難に出会うことがある」です。
問8	答え 3 ごとし	「光陰矢のごとし」の続きは「ごとし」です。意味は「月日が過ぎるのは矢のように非常に早いこと」です。
問9	答え 3 まだ手に入っていない利益をあてにして計画を立てること	「捕らぬ狸の皮算用」は「まだ手に入っていない利益をあてにして計画を立てること」という意味です。
問10	答え 3 風流や見た目よりも、実質的な利益や実用性を重んじること	「花より団子」は「風流や見た目よりも、実質的な利益や実用性を重んじること」という意味です。
問11	答え 1 一見	「百聞は一見にしかず」の「一見」の部分が入ります。意味は「人から何度も聞くよりも、一度自分の目で見るほうが確かである」です。
問12	答え 2 八起き	「七転び八起き」の続きは「八起き」です。意味は「何度失敗しても、くじけずに立ち上がって努力すること」です。
問13	答え 1 文殊	「三人寄れば文殊の知恵」の「文殊」の部分が入ります。意味は「凡人であっても、三人集まって相談すれば素晴らしい知恵が浮かぶものだ」です。
問14	答え 3 蛙	「井の中の蛙大海を知らず」の「蛙」の部分が入ります。意味は「狭い世界に閉じこもっていると、世の中の広さを知らないままになる」です。
問15	答え 2 虎子を得ず	「虎穴に入らずんば虎子を得ず」の続きは「虎子を得ず」です。意味は「危険を冒さなければ、大きな成果は得られない」です。
問16	答え 1 呼ぶ	「類は友を呼ぶ」の続きは「呼ぶ」です。意味は「似た者同士は自然と集まりやすい」です。
問17	答え 4 水心	「魚心あれば水心」の続きは「水心」です。意味は「相手が好意を示せば、こちらも好意で応じる気持ちになるということ」です。
問18	答え 4 山となる	「塵も積もれば山となる」の続きは「山となる」です。意味は「わずかなものでも、おろそかにせず積み重ねれば大きなものになる」です。
問19	答え 4 揉め事のあと、かえって前よりも良い状態になること	「雨降って地固まる」は「揉め事のあと、かえって前よりも良い状態になること」という意味です。